

クラレグループのCSRマネジメント

企業ステートメント

クラレグループ行動規範

コンプライアンス・ハンドブック

トップステートメント

クラレグループのCSRマネジメント

CSRマネジメント・CSR推進体制

クラレグループのCSRマテリアリティ

CSR活動目標と成果

リスクマネジメント・コンプライアンス

品質マネジメント

安全報告

環境報告

社会性報告

コーポレート・ガバナンス

GRIスタンダード対照表(内容索引)

CSRレポートバックナンバー

ランドセルは海を越えて

CSRマネジメント・CSR推進体制

クラレグループのCSRマテリアリティ

CSR活動目標と成果

リスクマネジメント・コンプライアンス

品質マネジメント

CSR活動目標と成果

2017年度クラレグループのCSR活動目標とマテリアリティ

	活動項目	目標	マテリアルな項目	パウンドマーク※	成果
経営	中期経営計画	中期経営計画 「GS-STEP」 (2015～2017) ・コア事業の深耕 ・技術革新 ・次世代成長モデルの構築 ・経営資源最適配置	経済パフォーマンス 製品およびサービス	◎	「GS-STEP」(2015～2017)の施策実施内容については中期経営計画「PROUD2020」(2018～2020) 参考資料 (2～4ページ)をご参照下さい。
安全	労働安全	・個人の安全意識の向上(咄嗟時の不用意な危険行動防止) ・非定常リスクアセスメントの推進 ・重大リスクには本質安全化または被害極小化の対策 ・異常の兆候検知と異常時対応能力の向上(経験を積ませ技術力向上) ・安全活動マネジメントのグローバル展開に向けた基盤整備	保安防災 労働安全 物流安全 化学品・製品安全 顧客の安全衛生 製品およびサービスのラベリング	◎	現場での工夫を凝らした取り組みや想定外への取り組み、危険感受性向上のための教育、各種訓練の充実などにより、安全水準が向上できました。また、国内外で共通化した労働災害評価システムの本格運用を始めるなど、グローバル展開に向けた基盤整備が進捗しました。
		国内：温室効果ガ			

	活動項目	目標	マテリアルな項目	パウンドドリーエ	成果
環境	地球温暖化防止	ス排出量 【環境効率】 2010年度比40% 向上（2020年） 海外：エネルギー ¹ 使用量 【環境効率】 2010年度対比 10%向上（2020 年）	エネルギー ¹ 製品およびサ ービス	◎	国内では約9,600トンの CO ₂ 排出量削減対策を実施 しました。その結果、国内 GHG排出量の環境効率は、 2010年度対比で向上しま したが、中期計画の2017 年度目標値には未達でし た。一方、海外のエネルギー ¹ 使用量の環境効率は低下 しました。
	水資源の有効利用	海外：水使用量 【環境効率】 2010年度対比 10%向上（2020 年）	地域における 水源	○	国内では具体的な目標は設 けていませんが、有効利用 に努めました。海外での水 使用量は、生産能力増強等 に伴い増加しました。
	化学物質の排出管理	国内：日化協 PRTR物質排出量 【環境効率】 2010年度対比 100%向上（2020 年）	大気への排出	◎	国内におけるPRTR物質 (法対象物質及び日化協自 主管理物質)の排出量は前 年実績を上回りましたが、 環境効率は2010年度対比 で向上しました。海外では 各生産拠点においてそれ ぞれの化学物質排出規制を遵 守しました。
	廃棄物の有効利用	国内、海外：廃棄 物発生量 【環境効率】 2010年度対比 10%向上（2020 年）	排水および廃 棄物 原材料	○	国内では2007年以降継続 している「廃棄物の有効利 用率90%以上、最終埋立處 分率1%以下」を維持しま した。また、廃棄物発生量 は前年実績を下回り、環境 効率は2010年度対比で向 上しました。海外については は2010年度対比で低下し ました。
	環境会計	-	環境全般	○	環境保全に関する投資額は 752百万円（前年382百万 円）、費用額は2,399百万 円（同；2,359百万円）で した。 ▶ ウェブ参照
	働きがいを実感できる人事施策	社員に対する成長 機会の提供	研修および教 育	○	世界を舞台に活躍できる人 材育成の一環として、部長 クラス、課長クラスを対象と する集合研修や担当者レ ベルのトレーニなどを実施 し、国内外で約50名が参加 しました。
職場	ダイバーシティー・ワー ク・ライフ・バランス	・女性活躍推進 ・働き方改革	多様性と機会 均等雇用	○	風土醸成・意識改革を目的 とした部長クラスのワーク ショップや、準管理職クラス の女性社員を対象とした研 修の実施、ノー残業ウイ ークの実施、フレックス制 度・在宅勤務の試行などに も取り組みました。
	心身の健康管理	メンタル対策、生 活習慣病対策の継 続・強化	労働安全衛生	○	管理・監督者（本社：管理 職、事業所：統括職以上） のラインケア研修受講率 100%を達成しました。
社会	文化、学術、 環境、福祉分 野での貢献	下記活動の実行： ・「ランドセルは 海を越えて」 ・「少年少女化学 教室」 ・知的障がい者の 作業施設運営 ・「クラレふれあ い募金活動」 ・地域とのつなが りに重きをおい た活動	地域コミュニ ティ	◎	クラレグループ社会貢献活 動方針に則り、文化・学 術・環境・福祉分野を中 心に活動しました。

企業情報	製品情報	研究開発	サステナビリティ	投資家情報
会社概要	事業から探す	基本方針	企業ステートメント	経営方針
ごいさつ	製品名から探す	技術と製品	クラレグループ行動規範	IRニュース
企業ステートメント	キーワードから探す	組織・体制	クラレグループ人権方針	クラレって?
役員	製品のはてな	歴史	トップステートメント	業績・財務情報
組織図		トピックス	サステナビリティ長期ビジョン・サステナビリティ中期計画	IRライブラリー
沿革			クラレグループのマテリアリティ	株式情報
主な受賞歴			Planet	IRカレンダー
主要グループ拠点			Product	よくあるご質問
会社案内動画			People	
テレビ番組動画			ガバナンス	
広告ギャラリー			GRIスタンダード対照表（内容索引）	
			クラレレポート（統合報告書）/サステナビリティウェブサイト	
			ランドセルは海を越えて	
			イニシアティブ	